

令和5年度 1学期 国語科【言語文化】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 国語科

教 科	国語	科 目	言語文化		
単 位 数	2	学 年	1	類 型	共通
教 科 書	高等学校 言語文化（第一学習社）				
科目目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 1 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 2 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 3 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				

単 元	古文に親しみ、表現の面白さや描写の巧みさを知ろう。（『宇治拾遺物語』児のそら寝）		
評価期間	1学期 4月		
単元の目標	- 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、五感を磨き語彙を豊かにすることができる。 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 - 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。		
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、五感を磨き語彙を豊かにしている。		「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	本文の表現の面白さについて話し合うことを通して、我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解し、作品に表れたものの見方や感じ方を捉えようと粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点		評 価 内 容	
知識・技能		- 第1学期中間考査 - 語句・文法プリント	
思考・判断・表現		- 第1学期中間考査 - 授業プリント・ノートの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度		- 週末課題の記述内容 - 授業プリント・ノートの記述内容 - 教師による行動観察	

単 元	漢文を訓読するための基礎知識を習得しよう。(漢文入門 訓読に親しむ)	
評価期間	1 学期 4～5 月	
単元の目標	・ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 ・ 「読むこと」において、各文に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	・ 「読むこと」において、各文に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	・ 学習の見通しをもって、音読の確認をし合うことを通して、訓読のきまりや古典特有の表現について理解を深め、各文に表れたものの見方、感じ方、考え方を捉えようと粘り強く取り組む中で、古典の世界に親しもうとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第1学期中間考査 ・ 訓読練習プリント	
思考・判断・表現	・ 第1学期中間考査 ・ 授業プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 週末課題の記述内容 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 ・ 教師による行動観察	

単 元	人物造形の面白さを読み取り、内容や展開を捉えよう。（『宇治拾遺物語』絵仏師良秀）	
評価期間	1 学期 5 ～ 6 月	
単元の目標	・ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 ・ 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	・ 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	・ 作品に描かれた人物造形の面白さについて伝え合うことを通して、文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深め、文章の構成や展開、表現の仕方や特色を捉えようと粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第 1 学期期末考査 ・ 文法テスト	
思考・判断・表現	・ 第 1 学期期末考査 ・ 授業プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 週末課題の記述内容 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 ・ 教師による行動観察	

単 元	歴史的・文化的背景を踏まえて、内容や展開を的確に捉えよう。（『戦国策』蛇足）	
評価期間	1 学期 6 月	
単元の目標	・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解することができる。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	・学習の見通しをもって、故事成語の由来や意味について調べ、発表する活動を通して、文章の内容や構成、展開などについての的確に捉えようと粘り強く取り組む中で、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第1学期期末考査 ・語句・句法プリント	
思考・判断・表現	・第1学期期末考査 ・授業プリント・ノートの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・週末課題の記述内容 ・授業プリント・ノートの記述内容 ・教師による行動観察	

令和5年度 2学期 国語科【言語文化】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 国語科

単 元	俳句の鑑賞の仕方を理解し、俳句を創作しよう。(近現代の詩歌「こころの帆」)	
評価期間	2学期 8月	
単元の目標	・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解できる。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。	・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	・俳句の形式や表現を進んで理解し、学習の見通しをもって俳句文芸に親しみ、作品に表れた心情を鑑賞するとともに、俳句の創作を通して、自分のものの見方、感じ方を豊かにするために粘り強く取り組もうとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・授業プリントの記述内容	
思考・判断・表現	・鑑賞プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・創作俳句	

単 元	随筆に表れたものの見方・考え方を理解しよう。(『枕草子』中納言参り給ひて)	
評価期間	2 学期 8～9 月	
単元の目標	・ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解することができる。 ・ 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。	・ 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	・ 学習の見通しをもって、随筆のさまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、作品に表れたものの見方、考え方について発表する活動を通して、我が国の言語文化について自分の考えをもつことに向けて粘り強く取り組もうとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第2学期中間考査 ・ 文法テスト	
思考・判断・表現	・ 第2学期中間考査 ・ 授業プリント・ノートの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 週末課題の記述内容 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 ・ 教師による行動観察	

単 元	歴史的背景を踏まえて、論理展開の巧みさを読み解こう。(『十八史略』先従隗始)	
評価期間	2 学期 9 月～10 月	
単元の目標	・ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めることができる。 ・ 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。	・ 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	・ 訓読のきまりなどについて理解を深め、文章の成立背景を踏まえつつ、たとえ話の論理を説明する活動を通して、当時の人々のものの見方や考え方を理解することに向けて粘り強く取り組み、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第 2 学期中間考査 ・ 語句・句法プリント	
思考・判断・表現	・ 第 2 学期中間考査 ・ 言語活動プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 週末課題の記述内容 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 ・ 教師による行動観察	

単 元	和歌の表現技法や効果を理解し、内容の解釈を深めよう。(『伊勢物語』 筒井筒)	
評価期間	2 学期 10 月～11 月	
単元の目標	・ 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解できる。 ・ 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。	・ 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。	・ 歌物語の世界に親しむために和歌の表現技法や効果などを理解した上で、登場人物の心情について話し合う活動を通して内容の解釈を深め、我が国の言語文化について粘り強く考察し、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第2 学期期末考査 ・ 文法テスト	
思考・判断・表現	・ 第2 学期期末考査 ・ 言語活動プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 週末課題の記述内容 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 ・ 教師による行動観察	

単 元	漢詩のきまりや表現技法を理解して鑑賞し、詩人の思いを読み取ろう。(唐詩の世界)	
評価期間	2 学期 11 月	
単元の目標	・ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 ・ 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	・ 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	・ 漢詩のきまりを理解して鑑賞し、唐代の詩人について調べる活動を通して、我が国の文化と外国の文化との関係について理解するとともに、内容の解釈を深めようと粘り強く取り組み、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第2学期期末考査 ・ 語句・句法プリント	
思考・判断・表現	・ 第2学期期末考査 ・ 言語活動プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 週末課題の記述内容 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 ・ 教師による行動観察	

単 元	文脈の中で文章の意味を読み取り、執筆意図について討論しよう。（『土佐日記』門出）	
評価期間	2 学期 11 月～12 月	
単元の目標	- 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 - 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	・学習の見通しをもって虚構性の高い日記を読み、文脈の中で文章の意味を読み取り、内容や構成、執筆意図などについて討論する活動を通して、分かったことを積極的に伝え合うことに粘り強く取り組もうとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	- 第 2 学期期末考査 - 文法テスト	
思考・判断・表現	- 第 2 学期期末考査 - 言語活動プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	- 週末課題の記述内容 - 授業プリント・ノートの記述内容 - 教師による行動観察	

令和5年度 3学期 国語科【言語文化】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 国語科

単 元	儒家思想について理解し、我が国の文化に及ぼした影響を考察しよう。（『論語』）	
評価期間	3学期 1月	
単元の目標	・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。	・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	・文化の継承、発展、創造を支える言葉の働きを理解した上で、『論語』が我が国の文化に及ぼした影響について説明する活動を通して、ものの見方や考え方を深めるために粘り強く取り組み、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・学年末考査 ・語句・句法プリント	
思考・判断・表現	・学年末考査 ・言語活動プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・週末課題の記述内容 ・授業プリント・ノートの記述内容 ・教師による行動観察	

単 元	語り物であることに注目して読解し、無常観を捉えよう。(『平家物語』木曾の最期)	
評価期間	3 学期 1 月～2 月	
単元の目標	・ 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解することができる。 ・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。	・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	・ 作品の歴史的・文化的背景を踏まえつつ、表現や描写・文体の特色を理解して、語り物として音読することを通して、作品に表れた無常観を捉え、内容を粘り強く解釈する中で、我が国の言語文化について考えを深めることに向け、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 学年末考査 ・ 文法テスト	
思考・判断・表現	・ 学年末考査 ・ 言語活動プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 週末課題の記述内容 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 ・ 教師による行動観察	

単 元	伝統芸能について興味を広げ、随想を書こう。(『人形浄瑠璃文楽』『祭りの笛』)	
評価期間	3 学期 2 月～3 月	
単元の目標	・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。 ・「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすることができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。	・「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。	・言葉の働きを理解し、自分の思いが効果的に伝わるよう、構成や展開、文体などの表現の仕方を工夫しながら、我が国の文化に関する題材を選んで随筆を書くことを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めることに向けて粘り強く取り組み、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・授業プリント・ノートの記述内容	
思考・判断・表現	・随筆の構成メモの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・随筆の内容 ・教師による行動観察	